

## 2016年度 図書館実務担当者研修会 ワーキング B 活動概要

テーマ	学修支援のための情報リテラシー教育実習		
概要	図書館で学修支援を行う際の基礎、情報リテラシー教育についての基礎的な事項と、図書館員が情報リテラシー教育を展開するために必要な知識と技術を、講義とアクティブラーニングを通して学ぶ。全体の構成は、知識を得るための講義と2日間を通して行う実践的なワークショップで構成されている。		
講師	野末 俊比古	所属	青山学院大学教育人間科学部 准教授

事前活動	指定の情報リテラシー教育チェックシート（ワークシート）に所属大学の情報リテラシー教育や学修支援の実施状況、課題などを記入し、研修会における参加者それぞれの状況や課題を明らかにした。		
研修会当日	【1日目】	10：45-11：55 オリエンテーション アクティブラーニング導入：他己紹介 13：30-15：00 講義 15：00-17：00 ワーク ワーク① 新入生の状況（情報リテラシー）を把握する ワーク② 卒業生の望ましい姿（情報リテラシー）を確認する ワーク③ 在学中に必要な学修内容（情報リテラシー）を分析する ワーク④ 図書館が関わる学修内容を検討・整理する ワーク⑤ 情報リテラシー教育の体系づくりの準備 ワークごとにグループ内および全体での共有と振り返りあり	
	【2日目】	10：00-11：55 ワーク⑤ 情報リテラシー教育の体系づくりの引き続き グループ内共有およびディスカッションと全体共有 13：30-15：45 ワーク⑥ 講習会の「指導案」を作成する グループ内共有およびディスカッションと全体共有・講師講評 最終発表に向けての各グループ代表者の決定	
	【発表】	5グループから代表が1名ずつでて、作成したワークシートを投影しながら、ワーク①～⑤の概要とワーク⑥の成果について発表した。	
事後活動	特になし		
そのほか (特記事項等)	今回のワークの内容は、大学教員がシラバスの内容を組み立てると同様の高度な内容を2日で行うワークショップ形式である。		

担当委員※	天野 由貴	所属	椋山女学園大学
担当委員	石川 宗臣	所属	日本福祉大学
担当委員	澤木 ひとみ	所属	名古屋女子大学
担当委員	浜里 敏大	所属	愛知大学

※はワーキング責任者